

第17回企画展

共催：手と目でみる教材ライブラリー

にってん *feel* ^{フィール} ハーモニー

— 楽器を触る、知る、感じる —

2025年

11/12 (水)

2026年

3/14 (土)

開館日◎祝日を除く水・金・土曜

※12月27日・31日、1月2日・3日は
休館です

開館時間◎10時～16時

(10時、13時、15時、各1時間のご案内です)

● 事前予約制

【お申込み・お問い合わせ】

ふれる博物館 開館日

090-3247-7290 (10時～16時)

その他の日は日本点字図書館へ

03-3209-0241(代) (9時～17時)

ご予約時には、お名前、人数、障害の有無、
電話番号等をお尋ねいたします。

協力：筑波大学附属視覚特別支援学校

武蔵野音楽大学楽器ミュージアム

一ツ目弁天会

新潟大学工学部 渡辺哲也

日本点字図書館附属
池田輝子記念

ふれる
Tactus Museo
博物館

にってん ^{フィール}feel ハーモニー — 楽器を触る、知る、感じる —

音色は知っているし名前も知っているという、耳では身近な存在の楽器。さてどんな形をしているでしょう。今回は西洋楽器と民族楽器を紹介します。民族楽器は音を鳴らせるものも展示しますので形だけでなく音もお楽しみください。

【主な展示品】

トランペット、トロンボーン、ホルン、チューバ、フルート、クラリネット、バイオリン、チェロ、コントラバス、バリンビン(フィリピン)、アングルン(インドネシア)、平家琵琶(日本)

ふれれば 目 開く想い

日本点字図書館は、創立以来、「読書のよろこび」に重きをおいて、多くの視覚障害利用者に図書の情報をお届けしてきましたが、見えないからこそその「ふれて知る愉しみ」といったものについては、用具ショップで扱うおもちゃやゲーム類を除けば、積極的な関わりを持ってはきませんでした。

盛岡にあります「桜井記念・視覚障がい者のための手でみる博物館」や大阪の「国立民族学博物館」などでは、手で触れる美術品や工芸品などを楽しむ視覚障害者が大勢います。最近では写真に熱中する人さえおります。こうした視覚障害者の話を見聞きするたびに、当館としても、何か文化的な事業ができないかと考えていました。

それが今回の「ふれる博物館」につながったのです。見える人の世界では、百聞は一見にしかずという言葉がありますが、私たち視覚障害者にとっては、百聞は一触にしかずということがあるのです。まさに、ふれれば 目 開く想いを抱き、聞くだけでは分からない豊かな情報を得ることができるのです。

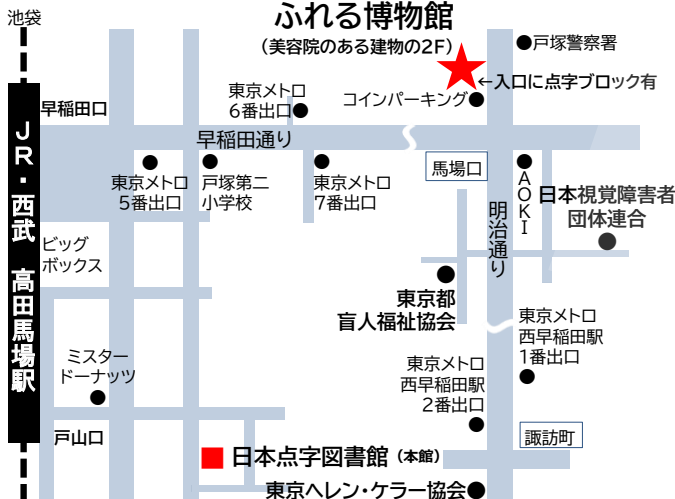
今後どのように発展させていくかが課題ですが、現代の技術を使った展示品や歴史的資料の収集や、本間一夫記念室等と相まって、当館の基礎的な文化の発信などに努めていきたいと考えております。

社会福祉法人日本点字図書館 会長 田中徹二



太鼓(マダガスカル)

1970年の日本万国博覧会で展示されていたもの。毛皮をそのまま使用した生皮は、乾燥するとなめした皮よりも硬くなり、たたくと鋭い音がします。



東京都新宿区高田馬場2丁目3-14 アイ・ブライツ2階
(1階は美容室 路上に誘導ブロック有)

アクセス

- ・JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線 高田馬場駅下車徒歩約10分
- ・東京メトロ副都心線 西早稲田駅2番出口から徒歩約7分
- ・駐車場はございません。